メンテナンス情報（GEO-W2013：ジオテキスタイル補強土壁・急勾配補強盛土設計システム）

| バージョン | 修正年月日 | No | コメント | 対応 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1.04.08 | 2024/05/13 | 52 | 要望に伴うプログラム修正  ・設計計算書の結果総括の出力について、「各段の使用材料・敷設間隔・敷設長」の出力個所を全体安定から内的安定へ変更。 | 修正済 |
|  |  | 51 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下の対策工において、基礎地盤の座標を多数入力している場合、条件によって計算時の座標数の最大値を超えてしまい、計算を行えない不具合を修正。  ・盛土直下の対策工において、掘削勾配を1:0.00に設定し複数の盛土層を対策した場合、全体安定検討で交差判定が発生し、計算が行えない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.07 | 2023/03/02 | 50 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土層を最大層数20層近くまで入力し、盛土高さを高く（不具合データでは100m以上）設定した場合、内的安定の必要補強引張力の算出において、計算時の制限数を超えてしまい計算を行えない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.06 | 2022/06/02 | 49 | 不具合に伴うプログラム修正  ・背面盛土「あり」に設定し、補強領域に設定した盛土層に補強材を敷設しない検討を行った場合、盛土層と背面盛土が重なってしまい正しく補強領域の自重を算出できない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.05 | 2021/12/28 | 48 | 不具合に伴うプログラム修正  ・背面盛土および水位線を考慮した場合、仮想擁壁の自重が正しく算出されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.04 | 2020/07/07 | 47 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土と背面盛土の合計層数が２０層を超えた場合、作図の最大数を超えてしまい、設計計算書の出力が正しく行えない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.03 | 2020/06/05 | 46 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の出力ファイル名に「.」が含まれる場合、ファイルの出力名が正しく設定されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.02 | 2020/04/14 | 45 | 不具合に伴うプログラム修正  ・Word2010以前のバージョンを使用している場合、設計計算書の出力が正しく行われない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.01 | 2020/04/06 | 44 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下の対策工を行っているVer1.02.02以前のデータについて、最新版でデータを読込んだ場合、掘削形状が変わってしまう不具合を修正。  ・盛土直下の対策工の底面が基礎地盤と重なった場合、土質形状が正しく分割されない不具合を修正。  ・盛土層を10層程度以上入力し、水位線が盛土層を横切った場合、層数の最大値を超えてエラーが発生する不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.04.00 | 2019/06/07 | 43 | 設計計算書の表紙に印字する日付の初期値を「令和」に対応。 | 修正済 |
| 1.03.01 | 2019/05/29 | 42 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下対策工の支持に対する検討において、対策工の形状の掘削勾配を０とした場合、基礎地盤の形状によって対策工の形状が正しく処理されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.03.00 | 2019/03/04 | 41 | 要望に伴うプログラム修正  ・盛土直下対策工の支持に対する検討において、対策工の形状についての仕様を変更。   1. 対策工の掘削勾配について、前面及び背面の勾配を入力する仕様に変更。 2. 対策工の前面幅および背面幅の入力項目を追加。分散角度を入力した場合に、自動設定されます。また、任意の値を入力することも可能です。 3. 前面幅および背面幅を考慮した底面幅と荷重分散を考慮した底面幅を比較し、値の小さい方を対策工の底面幅とし、支持に対する検討を行います。 | 修正済 |
|  |  | 40 | 不具合に伴うプログラム修正  ・滑動・転倒・支持力（盛土直下）に対する検討入力画面において、入力画面を最初に開いた状態での対策工の有効根入れ深さの初期値（Ｄfo）の値が、正しく表示されない不具合を修正。表示のみの不具合であり、計算結果には影響ありません。 | 修正済 |
| 1.02.02 | 2018/10/10 | 39 | 不具合に伴うプログラム修正  ・初期データにおいて、設計土質定数を常時および地震時別の設定を行った場合、仮定値とした層の粘着力が地震時の円弧すべり計算に考慮されない不具合を修正。初期データでの不具合であり、入力データを保存し開きなおすと粘着力が考慮されている。 | 修正済 |
|  |  | 38 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下の対策工による基礎地盤の自動掘削において、基礎地盤を2層以上かつ鉛直に掘削した場合、計算上の誤差により鉛直処理が行われず、基礎地盤の掘削が正しく行われない不具合を修正。(No36の追加修正) | 修正済 |
|  |  | 37 | 不具合に伴うプログラム修正  ・掘削形状の勾配を土質定数毎に定める場合、設計計算書の参考資料の掘削形状座標データの出力において、掘削勾配が0.00で出力される不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.02.01 | 2017/02/27 | 36 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下の対策工による基礎地盤の自動掘削において、基礎地盤を2層以上かつ鉛直に掘削した場合、計算上の誤差により鉛直処理が行われず、基礎地盤の掘削が正しく行われない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 35 | 不具合に伴うプログラム修正  ・「その他の補強材配置」入力画面において、画面上に表示しているその他補強材長の合計値に壁面強化材の長さも含まれてしまう不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 34 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の壁面直下の支持力に対する安定において、水平荷重ΣＨ＝0.00(kN/m2)と表示される不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.02.00 | 2017/01/10 | 33 | 要望に伴うプログラム修正  ・設計計算書の出力において、非表示状態での出力機能を追加。非表示状態で出力を行った場合、出力時間が短縮されます。 | 修正済 |
| 1.01.05 | 2016/01/18 | 32 | 要望に伴うプログラム修正  ・設計計算書の極限支持力度の寸法効果の出力において、粘着力ｃが100(kN/m2)以上の場合、ｃ\*の上限値が10(kN/m2)にも関わらず、10(kN/m2)以上の値が表示される不具合を修正。計算は上限値で行っている為、計算結果に影響はありません。 | 修正済 |
|  |  | 31 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の出力において、内的安定検討およびその他円弧すべり計算のみ出力した場合、円弧すべり形状の図が内的安定に表示される不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.01.04 | 2015/09/07 | 30 | 要望に伴うプログラム修正  ・円弧すべり計算において、補強材の種類のみを変更した場合、円弧すべりの通過点が初期化されないように修正。 | 修正済 |
|  |  | 29 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の外的安定の壁面直下の出力において、滑動・転倒の検討を行った場合、壁面直下の検討結果が確定していない状態でも、結果が出力されてしまう不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.01.03 | 2015/04/21 | 28 | 不具合に伴うプログラム修正  ・外的安定検討において、試行くさび線が地山に接する場合、切土面の土質定数を用いて土圧の算出を行っているが、地震時の切土面の土質定数に入力値が反映されず初期値のまま土圧が算出される不具合を修正。  **※この修正により以前のバージョンと地震時の土圧結果が異なる場合がありますので、ご注意ください。** | 修正済 |
| 1.01.02 | 2015/04/14 | 27 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の外的安定の出力において、背面土圧の常時および地震時で二直線すべりの検討となった場合、常時と地震時ともに二直線すべりの出力になる不具合を修正。 | 修正済 |
|  | 2015/04/13 | 26 | 要望に伴うプログラム修正  ・設計土質定数の仮定値の設定において、仮定値とした場合、砂質土（φ＝25°）および粘性土（φ＝30°）から選択する仕様に変更。 | 修正済 |
|  | 2015/04/08 | 25 | 不具合に伴うプログラム修正  ・外的安定の検討において、基礎地盤を複数層入力し、補強土壁の底面に接する基礎地盤に対して試行くさびのすべり線が地山に入る設定とした場合、試行くさび線のすべり角度が正しく算出されない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 24 | 不具合に伴うプログラム修正  ・外的安定の対策工の底面と基礎地盤の座標が重なっている場合、対策工直下の基礎地盤の土質定数が正しく設定されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.01.01 | 2015/01/21 | 23 | 不具合に伴うプログラム修正  ・基礎地盤の入力順によって、背面盛土の自動設定が正しく行われない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.01.00 | 2014/10/27 | 22 | 要望に伴うプログラム修正  ・基礎地盤（盛土直下）の支持力検討において、極限支持力度の支持力係数を算出する場合、荷重傾斜tanθを考慮するよう修正を行った。（荷重傾斜tanθ＝０として支持力係数を算出していた。）  **※この修正により以前のバージョンと極限支持力度の算出結果が異なりますので、ご注意ください。** | 修正済 |
| 1.00.09 | 2014/09/17 | 21 | 不具合に伴うプログラム修正  ・外的安定検討において地下水位線を考慮した場合、入力した地下水位線の形状によって、仮想擁壁の自重が正しく算出されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.00.08 | 2014/08/04 | 20 | 要望に伴うプログラム修正  ・壁面工の下端に対する支持力の検討において、壁面材との摩擦抵抗角が常時・地震時ともに共通の値を設定する仕様となっているが、常時・地震時毎に別の値を設定できるよう機能の追加を行った。 | 修正済 |
|  |  | 19 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の出力において、外的安定検討を行わない場合、全体安定検討の図の貼り付けが正しい位置に行われない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 18 | 要望に伴うプログラム修正  ・設計土質定数の入力画面の基礎地盤-1のγを変更した場合に、外的安定検討の基礎地盤のγ・ｃ・φの値を基礎地盤-1の値に変更する仕様を、γ・ｃ・φの変更した値についてのみ変更されるよう仕様変更を行った。 | 修正済 |
| 1.00.07 | 2014/07/14 | 17 | 設計計算書の参考設計の出力において、設計外力の単位を修正。 | 修正済 |
|  |  | 16 | 要望に伴うプログラム修正  ・補強材の敷設位置等を変更した場合、円弧すべり計算の格子中心座標が初期化される機能を削除。 | 修正済 |
|  |  | 15 | 要望に伴うプログラム修正  ・地震時の内的安定検討の必要引張力の算出方法および設計計算書の出力を修正。  **※この修正により以前のバージョンと地震時の内的安定検討の結果が若干異なりますので、ご注意ください。** | 修正済 |
|  |  | 14 | 不具合に伴うプログラム修正  ・ページの出力開始位置によって、目次のページ数が各ページ数と一致しない不具合を修正 | 修正済 |
| 1.00.06 | 2014/05/20 | 13 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土直下支持力の検討において極限支持力度を算出する際、計算結果に荷重の偏心量ｅを考慮している不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.00.05 | 2014/05/09 | 12 | 不具合に伴うプログラム修正  ・円弧すべり計算においてネバーカットライン・カットラインを設定している場合、設定した形状によっては、内的安定の入力画面でプログラムが落ちてしまう不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 11 | 不具合に伴うプログラム修正  ・掘削形状の掘削勾配を1:0.00と設定し外的安定の盛土直下対策工の検討を行った場合、円弧すべり計算において、「層が交差している。」とエラーメッセージが発生し、計算が行えなくなる不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.00.04 | 2014/04/17 | 10 | 不具合に伴うプログラム修正  ・円弧すべり計算において、盛土直下対策工の土質定数が正しく反映されない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 9 | 不具合に伴うプログラム修正  ・盛土下端の基準位置が(0,0)と異なる場合、壁面強化材を正しく敷設できない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 8 | 不具合に伴うプログラム修正  ・解像度の大きなディスプレイを使用している場合、設計計算書の表示が2ページ分並ぶ事により設計計算書の出力に不具合が発生する場合がある。この不具合を改善するために、出力時の表示の仕様変更を行った。 | 修正済 |
| 1.00.03 | 2014/04/04 | 7 | 不具合に伴うプログラム修正  ・地山に近接して設置する場合の仮想的な擁壁の底面幅が正しく算出されない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 6 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計土質定数で入力した土質毎の掘削勾配が保存されない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 5 | 不具合に伴うプログラム修正  ・設計計算書の出力について、設計条件の安全率一覧に支持力の安全率が表記されない不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.00.02 | 2014/03/20 | 4 | 不具合に伴うプログラム修正  ・インストールを行ったパソコンのユーザーアカウントとプログラムを使用するユーザーアカウントが異なる場合、設計計算書の出力が行えない不具合を修正。 | 修正済 |
|  |  | 3 | 要望に伴うプログラム修正  ・「基本条件-適用」で「補強盛土(勾配1:1.0～1:0.6)」を選択した場合、内的安定の検討に用いる設計水平震度の標準値を、擁壁工指針の設計水平震度に準拠するよう修正。 | 修正済 |
|  |  | 2 | 要望に伴うプログラム修正  ・水位線の考慮した場合のモデル図の表示範囲を修正。 | 修正済 |
| 1.00.01 | 2014/03/17 | 1 | 不具合に伴うプログラム修正  ・その他補強材を使用した円弧すべり計算を行った場合、設計計算書の出力において、結果総括の途中で出力が止まってしまう不具合を修正。 | 修正済 |
| 1.00.00 | 2014/03/10 |  | ジオテキスタイル補強土壁・急勾配補強盛土設計システム(GEO-W2013)の販売開始。 |  |